

自治会	自治会名	戸沢自治会						
	自治会拠点住所	上田市真田町長 7528-5						
	URL	なし						
	拠点施設名 ※公民館、 自治会館など	戸 沢 公 民 館						
								
	世帯数	50未満	100以下	250以下	500以下	750以下	1,000以下	1,000以上
	該当世帯数に○印		○					
	<p>【戸沢の独立】 明治九年、横尾村、真田村、横沢村そして大日向村が合併し長村が誕生した。当時の戸沢は横尾村の枝村として存在、幾多の苦難を乗り越えて、長村合併からおよそ二十年後の明治三十年、正式に戸沢区という独立行政区として横尾から分離独立した。この時、大日向から菅平が、横沢から角間が、真田から十林寺と石舟が、それぞれ同じように独立した。</p> <p>【戸沢の地勢】 上田駅より国道144号線を約10Km菅平方面に向かうと北に戸沢山の尾根が迫り、その裾野は小峰から横尾まで緩やかにくだっている。東側と西側、そして南側に開ける地形になっている。南に開けた正面の神川対岸には天神沖のほ場整備水田が広がり、その向こうには山崎の丘陵地帯の森が荒井区まで連なっている。天神沖右手側には石舟区の家並みが、そして左手山側には真田一族の山城である真田本城跡が真近かに望める。北に山を抱えていることから冬の北風を防ぎ、南からの太陽の光を受け暖かく、この地域では雪解けも早い。また、神川の流れは適度な涼風と霧を運んでくれ、一年を通して過ごしやすい地域である。</p> <p>【戸沢のねじ行事】 戸沢のねじ行事は、子どもの成長を願い行われる民俗行事で、平成八年(一九九六年)十一月に「国選択無形民俗文化財」に選択された。(2月の第二日曜日に行う) 戸沢に伝わる「ねじ行事」は歴史的に古く、「ねじ」は練った米の粉に食紅で彩色し、身近な野菜や果物、花、動物などをかたどる。(このような例は全国的に珍しい)。藁で作った八十cmほどの「わら馬」を台車に乗せ、その馬に「わらづと」に入れたねじをくくりつける。ねじを背負ったわら馬を親子が引いて道祖神に向かい、ねじを供え子供の無病息災を願いお参りする。最後はわら馬を自宅の屋根に投げ上げる。(わら馬が天馬となって災いを天に持っていくと言</p>							

	<p>われている)</p>  
	<p>参考文献:平成 24 年 3 月 2 日発行、「ねじとわら馬引きの里 戸沢」</p>
組織 個人名を含まない 組織図など	<p>【自治会三役(各 1 名)】自治会長 副自治会長 会計</p> <p>【代議員(10 名)】参事 4 名 兼務大柏木林道委員長 1 名 同副 1 名 兼務土木委員長 1 名 同副 1 名 同議員 2 名</p> <p>【公民館(5 名)】分館長 主事 厚生部長 職員 2 名</p> <p>【生活環境(6 名)】生活環境部長 同副兼務花づくり団体代表 職員 部員 3 名</p> <p>【各種委員】健康推進委員 2 名 少年補導員 福祉推進委員 3 名(市、地区) 戸沢自主消防隊 神社祭典係 農事組合 上小交通安全協会戸沢支部 自治会ねじつくり部 長寿会 婦人部 活性化組合</p> <p>【隣組伍長】自治会内 11 組制</p> <p>【役員選出】役員選考会(代議員)による</p> <p>【役員任期】任期 1 年(再任は妨げない)</p> <p>【定期総会】毎年 12 月第二日曜日 13:30-</p>
主な行事	<p>新年祝賀式、戸沢のねじ行事、わら馬講習会、春祈祷、区内清掃年 4 回、 三峰神社参拝、自治会夏祭り、自治会運動会、秋の大祭、資源回収年 12 回 敬老会</p>
第一次 避難場所	<p>施設名 戸沢公民館 住 所 上田市真田町長戸沢 7528-5</p> <p>その他自治会で指定された施設の施設名、住所</p>
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> ・上田市消防団長分団 ・戸沢自主消防隊 ・防犯指導員 ・真田地域少年補導員 ・上小交通安全協会戸沢支部 ・除雪機オペレータ ・防災訓練
安 全 安協のとりくみなど	<p>カーブミラー等の清掃</p>

環境 資源回収情報など	生活環境部による資源回収/毎月　区内一斉清掃 4回/年
その他 分館・育成会・消防・敬老会・AED設置場所など	<p>【分館】卓球大会、体育祭、夏祭り、分館対抗球技大会、運動会、人権学習会、敬老会</p> <p>【自主消防隊】各戸見回り/毎月、堰の泥上げ等 2回/年</p> <p>【健康推進委員】お楽しみ会等</p> <p>【天神祭り】菅原道真公を祭る</p>